

西中国地区 あちらこちら

今回は 村上が昨年 4 月に山口県の日本海側(西長門方面)を 1 泊 2 日でドライブ旅行に行きましたので、そのご報告です。

目的地は『元乃隅神社』と『角島大橋』です。

私は約35年前 転勤で山口市に4年間住んでいましたが、その当時は『元乃隅神社』という言葉聞いた事はありませんでした。

近年アメリカのニュース専門放送局が『元乃隅神社』を紹介した事で、多くの外国人観光客が来るようになったようです。

旅行の事前調査をせずにカーナビまかせで出発。途中の SA や道の駅で寄り道し、広島の実家から約 3 時間半かかりました。

目的地に近づくと道路が狭くなり『この先対向車との離合困難』の看板があったので、カーナビに文句を言いながら遠回りしてやっと到着。



最初に目に入ったのは赤い鳥居がずっと並んだ風景です。津和野の太鼓谷稲荷や京都の伏見稲荷大社を思い出しました。

まずは神社なので社殿でお参りと思い社殿を探すとあったのはこちら

その横に狛犬らしきものが

稲荷神社なので一応きつねですけど?

ご利益は期待できそうにありませんので、お賽銭は遠慮しました。

後日インターネットで調べてみ

ると、この施設は昭和 30 年頃つくられた個人が所有するもので、宗教法人格を保有していないそうです。(海の景色は良かったです)

しかし、考えなおすと神社としては?でも、観光事業としては地域にしっかり貢献していると思いました。

昼ごはんを予定していたお店は残念ながら定休日、近隣の店も全て定休日でした。

しかたないからコンビニのパンで済ませました。

(ちゃんと定休日を調べておけば良かったと後悔)



角島大橋は翌日に見学と思っていましたが、天気予報を見ると翌日は☔でしたので、急いで角島に向かいました。

短時間で角島大橋に到着

しばらく近くの高台から景色をながめました。

※支部のホームページを開くと最初に出てくる写真はこの日に撮影した写真です。

昨年、このような景色を見るためにわざわざ沖縄に行きましたが、こんなに近くでも似た風景が有ったとは……



角島に渡ってみると、見学スポットは灯台くらいでした。
(ちゃんと事前調査をすれば他にも見学するところが有ったかもと反省)

この日の宿は、元乃隅神社と角島大橋の中間にある『楊貴館』です。

この宿の近くには楊貴妃の伝説があるので、この名前かもしれません。

その伝説とは、「楊貴妃は、755年から763年にかけて起こった安史の乱で処刑されたというのが定説になっているが、小舟で脱出し、756年7月にこの近くに流れ着いた」というものです。



油谷湾に沈む夕日がきれいでした。

宿の部屋は広く、温泉に入ると肌がつるつるになり、妻も大喜びでした。

翌朝は☔が今にも降りそうな天気でしたので、雨でも楽しめる所として、秋芳洞に行くことにしました。

約1時間で秋芳洞に到着 昭和50年頃に来た時には、入り口につながる道沿いには、お土産物屋さんや飲食店がずらっと並んでいましたが、今は少なくなっていました。

秋芳洞の中に入ると百枚皿や黄金柱など素晴らしい眺めに再会。

昔はなんとも思わなかった見学道ですが、今回はちょっとした起伏に苦戦してしまいました。



外に出てみると天気は回復していたので、秋吉台のカルストロードをドライブしました。
さすがに日本三大カルストのひとつ けっこう長い道のりを走りましたが、ずっとカルスト台地が続いていて雄大な眺めを楽しみました。



この日の夕方には帰宅 楽しいドライブ旅行でした。

※みなさんも、景勝地や地域の祭・イベント・飲食店などをご紹介してください。

記事の編集や写真の加工などお手伝いさせていただきます。

連絡先 村上邦忠 <maido1@do9.enjoy.ne.jp> 090-7374-7721